

No.113 2025年4月28日

プレスリリース全文PDF ダウンロードは [こちら](#)です

## 2025年のマウントフジ 100、3つのレースに合わせて3,356人が参加して閉幕



マウントフジ 100 Mt.FUJI100 は4月25日（金）から27日（日）の三日間の日程で開催されました。新レース「ASUMI40k」（アスミ40k、距離40.2km、累積標高1,445m）、距離70.2km、累積標高3,052mの「KAI70k」（カイ70k）に続いて、距離168.0km、累積標高6,254mの「FUJI100mi」（フジ100マイル）が4月27日日曜日の14時30分に最終締め切り時刻を迎えました。

両レースの総合および年代別の表彰受賞者、29歳以下で顕著な成績を挙げた選手に贈られるニューヒーロー賞の受賞者は添付の資料をご覧ください。

(添付資料)

2025年大会の出走状況：[https://mtfujil00.com/wp-content/uploads/2025/04/2025\\_出走状況-attached-to-pressrelease113.pdf](https://mtfujil00.com/wp-content/uploads/2025/04/2025_出走状況-attached-to-pressrelease113.pdf)

ASUMI40kの表彰対象者一覧：<https://mtfujil00.com/wp-content/uploads/2025/04/2025ASUMI-attached-to-pressrelease113.pdf>

KAI70kの表彰対象者一覧：<https://mtfujil00.com/wp-content/uploads/2025/04/2025KAI-attached-to-pressrelease113.pdf>

FUJI100miの表彰対象者一覧：<https://mtfujil00.com/wp-content/uploads/2025/04/2025FUJI-attached-to-pressrelease113.pdf>

最終日の日曜日に行われた表彰式から選手のコメントをご紹介します。

## **FUJI100miで大会史上初の17時間台の偉大な記録を残したホアキン・ロペス選手の誇り**

FUJI100mi男子優勝のホアキン・ロペス Joaquin LOPEZ (ECU) は「レースは最初から最後まで本当に大変でした。前半は走りやすいコースでしたが、後半はまったく異なるコースでした。岩が多く、非常にテクニカルなコースだったので、このレースを完走するには、本当に完璧なランナーでなければなりません。」と話しました。さらにフィニッシュ後に倒れ込んだことについては「体調は良くなってきましたが、このレースでは100%の力を出し切りました。これまでで最もハードにプッシュしたと思います。既に非常に疲れていたため、少しでも早くフィニッシュラインを越えたかったです。」と振り返りました。

さらに、ラテンアメリカ出身のランナーでこの大会の表彰台に立ったのは、2012年の本大会の「STY」で優勝したフェルナンダ・マシエール Fernanda MACIEL (BRA) に続いて、自身が二人目であることに触れ、その名誉を達成できたことに感謝しました。

## **2度目のマウントフジ100への参加で頂点に立ったチャン・マンイー選手の喜び**

FUJI100mi女子優勝のチャン・マンイー ManYee CHEUNG 張敏怡 (HKG) は2019年のこの大会の100マイルのレース「UTMF」で5位になって以来、2度目の参加で優勝を勝ち取りました。「前回はとても寒くて雪が降り、富士山の姿も見ることができませんでした。今回は富士山を見ることができて満足しています。」と話します。今後の目標については「昨年のマウントフジ100でコートニー（・ドウォルター）が優勝したことにとっても興奮しました。彼女のリラックスした、自由なスタイルが大好きで、憧れています。」と話しました。

(シェン・ジアシェン選手は次は100マイルに挑戦したいと新たな目標を得る)

KAI70k男子優勝のシェン・ジアシェン Jiasheng SHEN 申加升 (CHN) は今回参加したマウントフジ100について、「初めて参加しましたが、皆さんが優しく、レースでは素晴らしい経験ができ、全てがよい印象でした。」と話しました。さらに「来年、あるいは再来年、チャンスを見つけて、必ずFUJI100miに挑戦したいと思います。」と新たな決意を表明しました。

### コース上での応援の声に支えられて完走することができたと振り返る川崎雄哉選手

FUJI100mi男子3位の川崎雄哉 Yuya KAWASAKI (JPN) は「最高のコンディションの中で、素晴らしいランナーの皆さんと走れました。途中は苦しい場面も多かったですが、コース上でたくさんの方に応援していただいたおかげで最後まで走り切れました。」と話しました。最後に愛息を抱きかかえてゴールテープを切ったことについては「手を繋いで一緒に走ってゴールしたかったのですが、19時間を切るために急いでいました」と笑顔で話しました。

### 得意の100マイルで会心の走りができた伊東ありか選手

FUJI100mi女子3位の伊東ありか Arika ITO (JPN) は昨年は目標としていたレースでいずれも力を出しきれなかったといいます。「今回は昨年の悔しさをバネにして一生懸命走りました。私は短い距離よりも100マイルを走るのが好きで、今回は走りやすく楽しい100マイルでした。」と話しました。

## Mt.FUJI100 2025 大会概要

■開催日 2025年4月25日(金)～4月27日(日) 3日間

### ■競技種目

#### FUJI100mi (フジ100マイル)

- ・距離：約168.0km・累積標高：+6,254m
- ・スタート会場：富士山こどもの国(静岡県富士市)
- ・フィニッシュ会場：富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)
- ・スタート時刻：4月25日(金) ウェーブスタート(各600名ずつ)  
17時00分(※45時間30制限) / 17時15分(※45時間15分制限) /  
17時30分(※45時間制限) / 17時45分(※44時間45分制限)
- ・最終制限時刻：4月27日(日) 14時30分(\*44時間30分制限)
- ・募集人数：2,400名(優先エントリー・一般エントリー・寄付エントリー、エリート含む)
- ・サポート：500名

#### KAI70k (カイ70k)

- ・距離：約70.2km・累積標高：+3,052m
- ・スタート・フィニッシュ会場：富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)
- ・スタート時刻：4月26日(土) 13時30分
- ・最終制限時刻：4月27日(日) 10時30分(\*21時間制限)

- ・募集人数：1000名（一般エントリー・寄付エントリー、エリート含む）

## ASUMI40k（アスミ40k）

- ・距離：約40.2kkm ・累積標高：+1,445m
- ・スタート・フィニッシュ会場：富士北麓公園富士山の銘水スタジアム（山梨県富士吉田市）
- ・スタート時刻：4月26日（土）12時
- ・最終制限時刻：4月26日（土）19時（\*7時間制限）
- ・募集人数：200名（一般エントリー・寄付エントリー、エリート含む）

### ■主催 Mt.FUJI100実行委員会

<構成団体>

- ・一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート
- ・マウントフジ共同事業体  
（株式会社ソトエ、リージョンポート合同会社、株式会社アールビーズ）

■共催 富士市、富士宮市、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村、御殿場市、裾野市

### ■主管 マウントフジ共同事業体

（株式会社ソトエ、リージョンポート合同会社、株式会社アールビーズ）

■環境パートナー NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部

■特別協賛 THE NORTH FACE、富士急グループ、

■プラチナ協賛 日本ゴア合同会社、aminoVITAL

■後援 スポーツ庁、観光庁、静岡県、山梨県、道志村、静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-MIX

■名誉実行委員 実行委員会構成10自治体首長

■大会会長 鏑木毅（一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート代表理事 / プロトレイルランナー）

■大会副会長 堀内光一郎（富士急行株式会社 代表取締役社長）

■大会プロデューサー 福田六花（医師・ミュージシャン 富士河口湖町在住）

- 共同代表 千葉達雄（株式会社ソトエ 代表取締役）  
 田近義博（リージョンポート合同会社 代表）  
 兼島奈々（株式会社アールビーズ 取締役）

- アドバイザー 村越真（静岡大学教育学部教授）  
 中尾益巳（NPO法人ディスカバー・リアス 代表理事）  
 三浦務（NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 副理事長/事務局長）

## Mt.FUJI100 2025 プレス関係スケジュール

大会前日25日（木）11時00分より有力選手を紹介する記者会見、12時00分よりプレスブリーフィングを開催します。また、27日（日）KAI 12時、FUJI 14時より表彰式を予定しております。

### ■4月25日（金）

08:00- センター	プレスセンター開設	*1 富士北麓公園内 プレスセ
08:00-18:00 ム	EXPO開催	*2 富士北麓公園内 スタジア
10:00-14:00 センター	プレス受付	*1 富士北麓公園内 プレスセ
11:00-12:00 ージ	記者会見（日英対応）	*3 富士北麓公園内 特設ステ
12:00-13:00 ジ	プレスブリーフィング（日英対応）	*3 富士北麓公園内 特設ステー
11:00-16:30 16:30	プレス受付（スタート会場） FUJI開会式（日英対応）	富士山こどもの国 富士山こどもの国
17:00-17:45	FUJIウェーブスタート	富士山こどもの国

### ■4月26日（土）

09:00-18:00 アム	EXPO開催	*2 富士北麓公園内 スタジ
11:30 アム	ASUMI開会式（日英対応）	*2 富士北麓公園内 スタジ
12:00 アム	ASUMI一斉スタート	*2 富士北麓公園内 スタジ

13:00 アム	KAI開会式（日英対応）	*2富士北麓公園内 スタジ
13:30 アム	KAI一斉スタート	*2富士北麓公園内 スタジ
18:00-19:00 ージ	ASUMI表彰式（日英対応）	*3富士北麓公園内 特設ステ
19:00 アム	ASUMI制限時刻	*2富士北麓公園内 スタジ

## ■4月27日（日）

09:00-14:00 アム	EXPO開催	*2富士北麓公園内 スタジ
10:30 アム	KAI制限時刻	*2富士北麓公園内 スタジ
12:00-13:00 ージ	KAI表彰式（日英対応）	*3富士北麓公園内 特設ステ
14:00-15:00 ージ	FUJI表彰式（日英対応）	*3富士北麓公園内 特設ステ
14:30 アム	FUJI制限時刻	*2富士北麓公園内 スタジ
14:30 センター	プレスセンター終了	*1富士北麓公園内 プレスセ

### \*1 富士北麓公園内 プレスセンター：

体育館 1階 会議室

### \*2 富士北麓公園内 スタジアム：

富士山の銘水スタジアム

### \*3 富士北麓公園内 特設ステージ：

富士山の銘水スタジアム 特設ステージ



### 本件に関するお問い合わせ先

Mt.FUJI100実行委員会事務局

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺955-1

電話：090-1981-1478 FAX：0558-80-9207

E-mail：press@mtfujii100.com

大会ウェブサイト：<https://mtfujii100.com>

大会Facebook：<https://www.facebook.com/Mt.FUJI100/>

大会X：<https://twitter.com/MtFUJI100>

大会Instagram：<https://www.instagram.com/mt.fujii100/>

大会YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCYTG7HNLx89OeaOsknc6mTg/featured>

\* プレスリリースのバックナンバーはこちらからご覧ください: <https://mtfujji100.com/press/>

\* プレス用大会公式写真をご覧になりたい方は上記事務局までお問い合わせください。

